

医療関連感染をおこさないための 手指衛生遵守率増加への取り組み — 国立がん研究センター中央病院A病棟の取り組み —

斎藤香奈枝[†] 大木美智子 岡村有夏 中野貴代子

第73回国立病院総合医学会
(2019年11月8日 於 名古屋)

IRYO Vol. 75 No. 5 (437-441) 2021

要旨

がん診療の専門病院のA病棟は、集学的治療を目的とした外科・内科の患者が混在し、常に感染リスクが高い環境にある。そして、2017年度にアウトブレイクを経験し、医療者による手指衛生遵守が徹底されていない現状がわかった。そこで、看護師と医師における適切な手指衛生の遵守と感染予防に対する意識向上を図ること、および患者の感染予防に対する意識向上を図る目的で取り組みを行った。方法として、1. 病棟の全看護師を対象に、日々の行動の振り返りとして手指衛生場面のロールプレイを実施し、取り組み前後で手指衛生遵守率の比較をし、1. 2カ月後の小テストの正答割合の変化を測定した。2. 5つの診療科医師を対象に、診療科カンファレンスでの説明、ポスター掲示、患者訪問前の日々の声掛けを実施し、取り組み前後で病室入室時の手指衛生遵守率を測定した。3. 患者とその家族を対象に、入院時に手指衛生のオリエンテーションを実施し、手指衛生に関する患者の言動を評価した。結果から、ロールプレイにより看護師自身の手指衛生の遵守状況が明確となり改善に繋がる^{つな}ることがわかった。一方で、知識や意識は時間と共に低下し、継続的な取り組みの必要性があることがわかった。また、医師へは、看護師からの直接的な声かけがより効果的であることがわかった。患者家族への入院時オリエンテーションは、患者自身の手指衛生への意識を高めることができた。このことから、看護師がリーダーシップをとり、病棟全体で手指衛生を行う組織的な取り組みの重要性がわかった。

キーワード 手指衛生遵守率, ロールプレイ

はじめに

国立がん研究センター中央病院（当院）は、が

ん治療の専門病院である。A病棟は、骨軟部腫瘍科、皮膚科、放射線治療科・診断科、頭頸部内科の病床を有し、外科・内科の患者が混在し集学的治療を行

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部 †看護師
著者連絡先：斎藤 香奈枝 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
e-mail : kansaito@ncc.go.jp

(2020年3月23日受付, 2021年4月16日受理)

Initiatives to Increase Hand Hygiene Compliance Rates to Prevent Medical-related Infections : Efforts at the 'A Ward' of the National Cancer Center Hospital

Kanae Saito, Michiko Ooki, Yuka Okamura and Kiyoko Nakano, National Cancer Center Hospital Nursing Department Nurse

(Received Mar. 23, 2020, Accepted Apr. 16, 2021)

Key Words : finger hygiene, role playing

処置後の 汚れたその手でおにぎり 食べられますか？

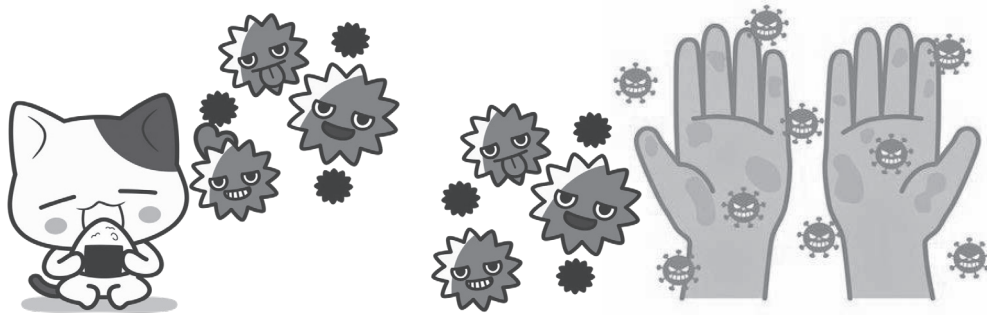


図2 医師へ提示したポスター

て、患者と医療者の活動エリアを意識し、実際見学した手指衛生のタイミングが5つのどのタイミングに当たるのかについて、またエリア移動時には手指衛生が必要であることを説明した。

- ③6月と11月に直接観察法でWHOの手指衛生の5つのタイミングの手指衛生遵守率の調査を実施し比較した。
- ④知識の定着を確認するため、ロールプレイで使用したシナリオを用いて正しいタイミングを確認するテストを、ロールプレイ実施1カ月後と2カ月後に実施した。

2. 医師への取り組み

取り組み期間：2018年11月-2019年1月

11月に各診療科のカンファレンスで手指衛生について周知を行い、各診療科医師に向けて「Healthcare Worker Hand Hygiene Educational Training Video」²⁾の視聴を促し、医療者の手で感染が拡大していくことを視覚で訴えた。医師の視界に入る場所（処置室・手洗い場・職員トイレ・カンファレンスルーム）へポスターを提示した（図2）。

12月初めの医師による遵守率の結果を踏まえ、12月後半からは回診時など病室へ入る前の医師に直接手指衛生を呼びかけ、看護師が促しながら一緒に手指衛生を行った。

医師が患者へ触れる前の手指衛生の遵守を確認するため、医師が患者の病室に入る延べ回数（100回）のうち何回手指衛生を行ったかをカウントした。12月初めと1月後半の2回でデータを取り、比較した。

3. 患者・家族への取り組み

取り組み期間：2018年9月-2019年1月

病室前の手指衛生を促すポスターのデザインを新しいものに改定し提示した。以前は患者の入院時に、病棟クラークが手指衛生のオリエンテーションを実施していた。12月からは看護師が新たに作成したオリエンテーション用のリーフレットを使用し、患者に説明を行い、カルテにオリエンテーションを実施した記録を残した。

結 果

1. 看護師への取り組み結果

- ①手指消毒剤使用量の目標値の変更を行った後、ロールプレイやタイミングの確認テストを実施し、一人当たり平均1,300 ml程度まで増加がみられた。
- ②ロールプレイ実施後の参加者からは、患者に触れた後にパソコンの操作をするときや、患者周辺の環境から医療者の活動エリアへ移動するタイミングが忘れやすいことなど、疑問に思っていることをデ

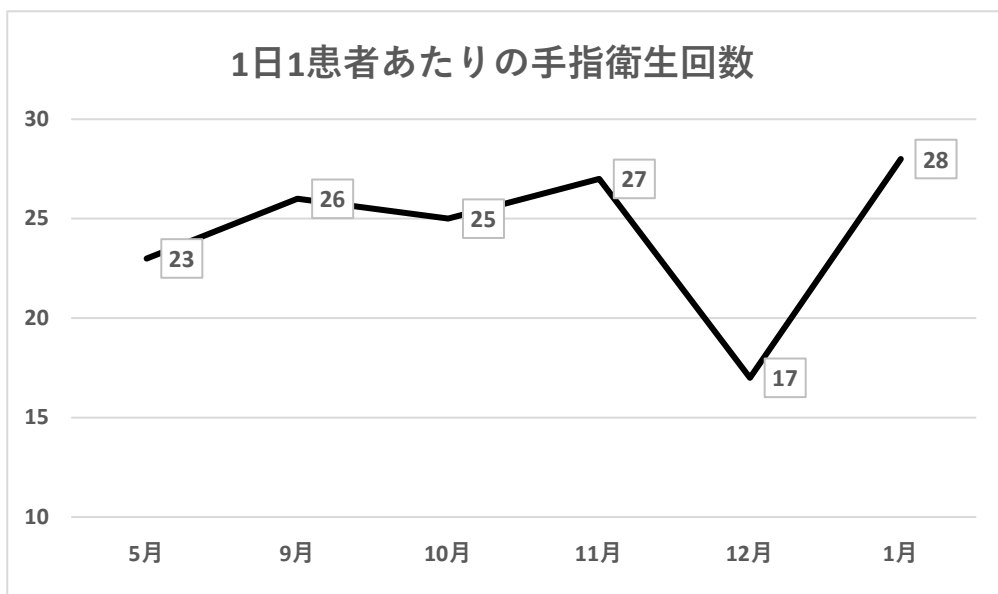


図3 A病棟での1日1患者あたりの手指衛生回数（看護師）

スカッションし振り返りを実施した。「正しいタイミングを理解できた」「自分が正しい場面でできていないことがわかった」という意見があった。

③看護師の手指衛生遵守率はWHOの5つのタイミング全体で、取り組み前の6月は53%であったが、ロールプレイ実施後の11月には76%に上昇した。

④シナリオを用いたミニテスト全体の正答率は、1カ月後が84%、2カ月後は81%であり、時間経過とともに低下がみられた。その中でも患者に触れた後のタイミングの正答率が大きく低下（1カ月後73%→2カ月後63%）した。

⑤ロールプレイ実施直後の11月は、1日1患者あたりの手指衛生回数は27回と増加したが、12月は17回と減少した。そこで、1月からは手指消毒剤の個人使用量を、看護師自身が毎日確認し一覧表にして、病棟内に貼り出した。「見える化」したことで、手指消毒剤の使用量に増加がみられ、1月の1日1患者あたりの手指衛生回数も28回と増加した（図3）。

2. 医師への取り組み結果

11月から、カンファレンスでの呼びかけ、動画視聴、ポスター掲示など医師への取り組みを行っていたが、12月前半の医師が病室へ入る前の手指衛生の遵守が31%と低かった。そのため12月後半からは、回診時など病室へ入る前に、医師に直接手指衛生を呼びかけ、看護師が促しながら一緒に手指衛生を

行った。1月後半の手指衛生遵守は41%に上昇した。

3. 患者・家族への取り組み結果

看護師がリーフレットをもとに患者へのオリエンテーションを開始し、1カ月程度経過した頃には、患者や家族が手指衛生を実施する場面や、患者から「先生が傷を触るのに、消毒してないけど大丈夫か」などの発言があった。

考 察

病棟看護師全員に対しロールプレイを実施したことで、日々の行動を振り返り、手指衛生の遵守率向上に効果的であったことが示唆された。また、ロールプレイ後に正しいタイミングの確認テストを実施したことは知識の定着と振り返りに繋がると考えられたが、時間の経過により意識は低下するため、継続的な取り組みが必要であると考えられる。また、個人の手指消毒剤の使用量を「見える化」することは、看護師自身の手指衛生の現状を視覚に訴え比較することに繋がり、使用量の増加に繋がった。

医師へは知識の周知や啓蒙だけではなく、実際の場面で必要なタイミングで看護師が声を掛け、共に実施することが最も効果的であった。

患者・家族へは、入院時のオリエンテーションの中でクラークから説明してもらっただけでなく、看護

師がリーフレットをもとに手指衛生の必要性について説明することで、患者・家族自身の手指衛生についての意識や、医療者の実施状況の見方が変化することが、示唆された。

ま と め

今回の取り組みを通して、医療関連感染をおこさないためには看護師がリーダーシップをとり、医師や他職種、患者・家族も巻き込み、病棟全体で手指衛生を行う組織的な取り組みを継続していくことが重要であるとわかった。

〈本論文は第73回国立病院総合医学会でのワークショップ「院内感染を考える」において、「医療関連感染を起こさないための手指衛生遵守率増加への取り組み」として発表した内容に加筆したものである。〉

著者の利益相反：本論文発表内容に関連して申告なし。

【文献】

- 1) WHO, My 5 Moments for Hand Hygiene, WHO Guidelines on Hand Hygiene in Health Care, 2009.
- 2) McGuckinMethodsIntl, Healthcare Worker Hand Hygiene Educational Training Video, Retrieved from (<https://youtu.be/LvRP3c5n3P8>, 2010/12/02公開) .